

6月の中小企業月次景況調査

〔令和3年6月末現在〕

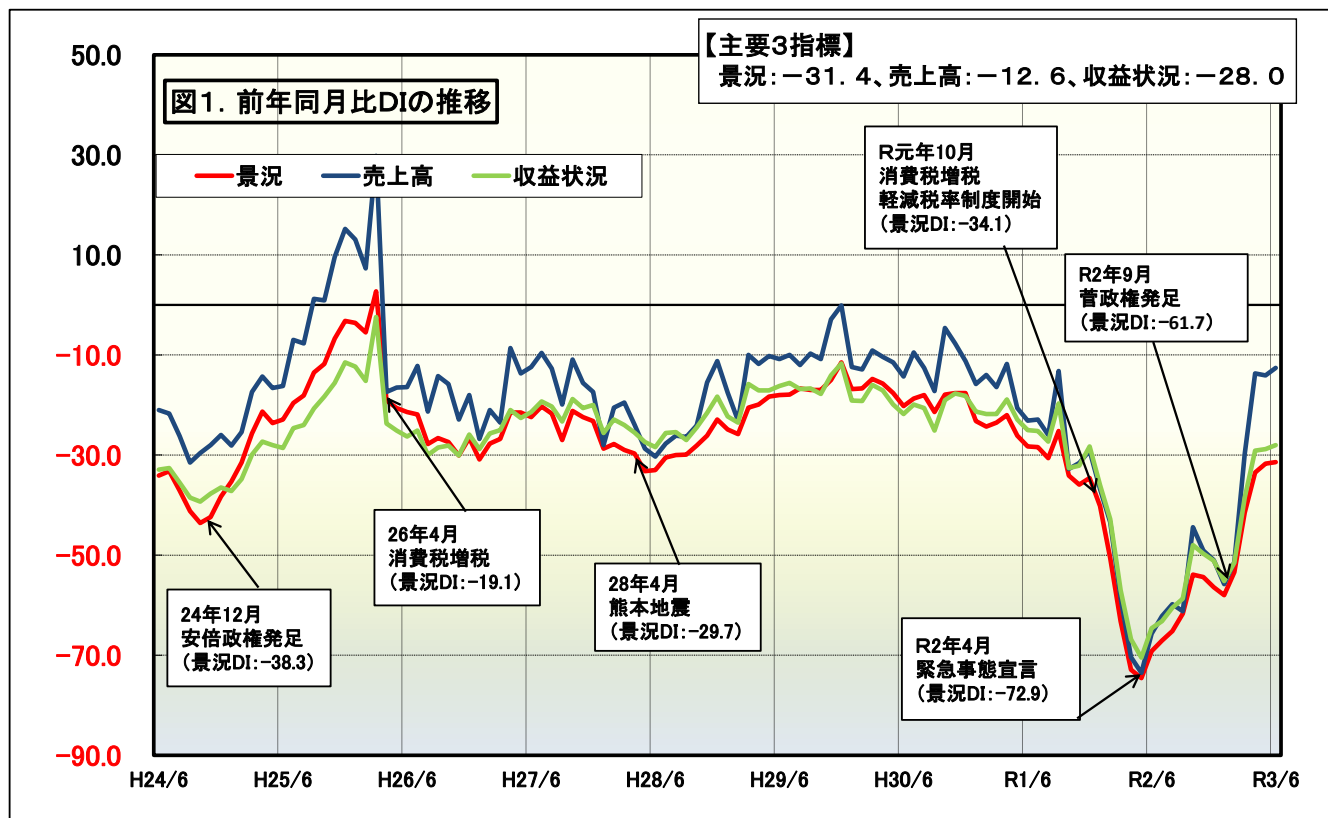


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和3年7月26日発表

◎6月のD Iは、足踏みが続く。

- 半導体・電子部品、自動車関連等の製造業は、一部指標がプラスに転じる等改善傾向にある。しかし、原材料価格高騰の影響を受ける業種や、小売業、サービス業等の非製造業は、引き続き景況感は低迷しており、全体として足踏み状態が続いている。
- 新型コロナウイルスの収束は依然として見通せず、収益面や資金繰り面で悪影響が続いている。
- 新型コロナウイルスの影響を強く受けている業種に加え、好調な一部業種でも原材料高・部品の調達不安等により、先行きを不安視する声が引き続き多く寄せられている。業種によっては高齢化も相俟って廃業を検討する声も後を絶たない。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当：政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

6月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 6月のD Iは、足踏みが続く結果となった。主要3指標は、景況0.3ポイント改善、売上高1.5ポイント改善、収益状況0.8ポイント改善と小幅改善。
2. 主要3指標以外では、取引条件、雇用人員、在庫数量のD Iが、前月比マイナスとなった。一方、設備操業度のD Iは7.0ポイント改善し、全般的に機械等の稼働率が上昇していることが窺える。
3. 変異株の再流行で、新型コロナウイルスの収束が依然として見通せず、「先行きへの見通しがつかない」、「秋口に向けてワクチン接種の完了に期待する」、というコメントが引き続き多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

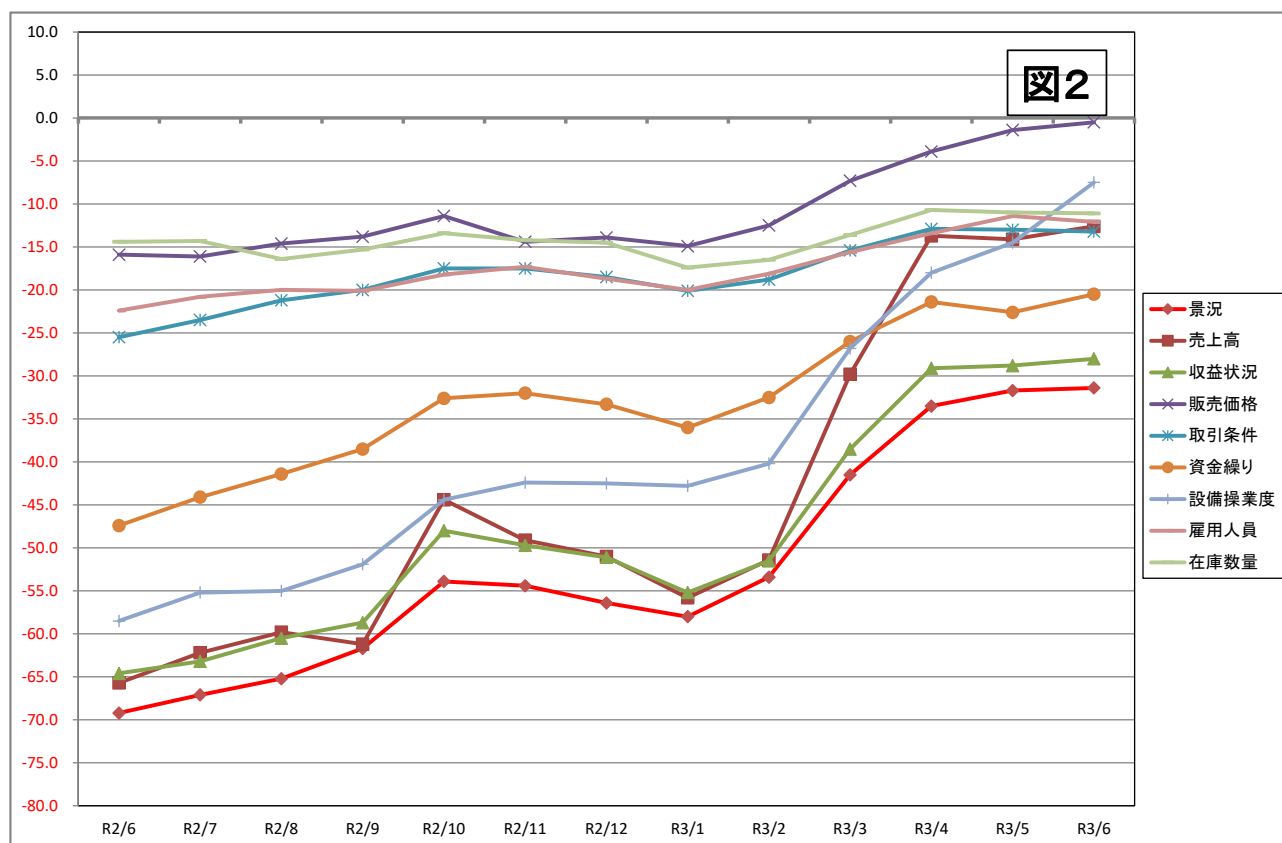


表1	R2								R3						前月比
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
景況	-69.2	-67.1	-65.2	-61.7	-53.9	-54.4	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	-31.7	-31.4	0.3	
売上高	-65.7	-62.2	-59.8	-61.2	-44.4	-49.1	-51.0	-55.8	-51.4	-29.8	-13.7	-14.1	-12.6	1.5	
収益状況	-64.6	-63.2	-60.5	-58.7	-48.0	-49.7	-51.1	-55.2	-51.5	-38.5	-29.1	-28.8	-28.0	0.8	
販売価格	-15.9	-16.1	-14.6	-13.8	-11.4	-14.4	-13.9	-14.9	-12.5	-7.3	-3.9	-1.4	-0.5	0.9	
取引条件	-25.5	-23.5	-21.2	-20.0	-17.5	-17.5	-18.5	-20.1	-18.8	-15.4	-12.9	-13.0	-13.2	-0.2	
資金繰り	-47.4	-44.1	-41.4	-38.5	-32.6	-32.0	-33.3	-36.0	-32.5	-26.0	-21.4	-22.6	-20.5	2.1	
設備操業度	-58.5	-55.2	-55.0	-51.9	-44.4	-42.4	-42.5	-42.8	-40.2	-26.8	-18.0	-14.5	-7.5	7.0	
雇用人員	-22.4	-20.8	-20.0	-20.1	-18.2	-17.3	-18.7	-20.0	-18.1	-15.6	-13.4	-11.4	-12.1	-0.7	
在庫数量	-14.4	-14.3	-16.4	-15.3	-13.4	-14.2	-14.5	-17.4	-16.5	-13.6	-10.7	-11.0	-11.1	-0.1	

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 業種によっては改善の動きは見られるものの、先行きについては変異株の再流行で、コロナ収束を見通せず、今後のワクチン接種完了に期待する声が数多く寄せられ、先行きの不安視が続いている。
2. 原材料価格高騰による収益圧迫、建設業や製造業における外国人労働者等の人手不足、後継者不在等による廃業に関する報告等も引き続き散見された。非製造業では、仕入価格を販売価格に転嫁できないという声も多い。
3. 一方で、コロナ禍を契機とした、ニューノーマルへの対応や事業再構築への前向きな取組みも数多く寄せられている。

《主な報告内容》

◇長引くコロナ禍による経営への影響等

- ・緊急事態宣言が消費経済に与えた影響は大きく、ワクチン接種が早急に進み、経済活動が一気に改善することを期待したい。(北海道/商品小売業)
- ・受注量が大幅に減少しており、価格競争によるダンピングの懸念も持たれている。今後の受注環境に大きな影響が予想される。(宮城県/建設業)
- ・原油価格が上昇し続けており、ガソリン価格は前年同月比で116%となった。毎週のように仕入価格が上がっているが、転嫁が追いつかない状況となっている。(埼玉県/石油小売業)
- ・人材不足の状況が続き、残業を増やす組合員が増えた。相変わらず、外国人技能実習生の来日に見通しが立たず苦慮している状態が続いている。また、自動車業界は堅調だが、半導体部品が品薄の為、フル操業ができない様子である。(岐阜県/鋳物業)
- ・店主の高齢化による自主廃業が大きな課題で、業界の中でも地域電器専門店はこの課題への対応・解決が大きな問題となっている。事業継承の課題が顕在化しつつあり、高齢店主の販売ダウンによる自主廃業がコロナ禍の中で加速されつつある。(三重県/家電小売業)
- ・老舗スーパーの閉店により人材、景品の確保ができない為、昨年に続き夏の夜市が中止となり、商店街の存在価値は、毎月、毎月弱くなっているのが現状である。(愛媛県/商店街)

◇コロナ禍における、ニューノーマル・業態変換(事業再構築)等の取組み

- ・最近是一般企業でもDX化のためのデジタル人材の採用が多く、採用の厳しさに拍車をかけている。そのため、人材不足、人手不足を抱える道内中小企業は新卒者や転職者を区別することなく通年で採用している。(北海道/サービス業)
- ・依然としてコロナ対策に注意しながらの運営である。緊急事態宣言発令時に備え、オンラインへの切替えを準備している塾も多い。但し、授業の効果は対面式の方が高いので、そちらが優先されている。(千葉県/学習塾)
- ・コロナ禍の中、販売顧客層、販売方法、商品等について考えると、今までとは違うやり方があるので、はと模索する中で、世代交代により若い組合員から積極的に意見が出てくるので、丁寧に対応し前向きに進んで行きたい。(富山県/パン・菓子製造業)
- ・売上・収益共に厳しい状況が続いている。生活環境の変化でレッグ用途が販売不振。インバウンドの期待もなく、依然として厳しい状況が続いている。環境配慮型(サステイナブル)素材に移行の必要があると提案される。(石川県/ねん糸等製造業)
- ・経済産業省の「事業再構築補助金」第1回公募の採択結果、組合員企業から「バーチャル展示ブースによる新たな商談会の創出」、「好みの写真、画像をオーダーメイドで壁紙にして提供」など新型コロナウイルスを契機とした新事業展開への動きが見られる。(愛知県/印刷業)
- ・来店に車を使う人が増えている。駐車場の拡大もあるが、コロナで公共交通機関を使わないシニア層が増えたように感じる。不要不急の外出を控えている主力客層が来街しないと厳しく、コロナ後に固定客が戻るのか心配する声も多い。一方、コロナ後に備え「非接触型ビジネス」の導入や、マーケティングの基本を再考している店舗もある。(鹿児島県/商店街)

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告(要旨)」等も参照。

1. 景況

	前月	当月	増減	傾向		
全体	▲ 31.7	▲ 31.4	0.3	上昇	↗	
製造業	▲ 27.9	▲ 23.8	4.1	上昇	↗	
非製造業	▲ 34.5	▲ 37.1	▲ 2.6	悪化	↘	
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、一般機器、その他の製造業				
	5～10ポイント	繊維工業、印刷				
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし				
	5～10ポイント	小売業				

表2. 業種別【景況】DIの推移（前年同月比）

業種名	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	前月比
全体	-69.2	-67.1	-65.2	-61.7	-53.9	-54.4	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	-31.7	-31.4	0.3
製造業	-74.7	-73.0	-71.8	-66.5	-60.8	-59.4	-60.8	-60.9	-54.7	-41.4	-32.8	-27.9	-23.8	4.1
食料品	-69.0	-69.8	-64.7	-60.2	-53.1	-51.5	-55.8	-62.7	-62.0	-39.5	-35.5	-41.0	-40.6	0.4
繊維工業	-90.9	-85.8	-84.8	-82.7	-79.8	-80.3	-84.7	-80.6	-74.4	-69.2	-67.8	-63.0	-55.7	7.3
木材・木製品	-73.9	-73.5	-71.0	-67.0	-64.5	-61.0	-59.5	-58.4	-46.9	-39.9	-23.9	-15.0	-17.4	-2.4
紙・紙加工品	-75.0	-84.2	-86.4	-68.2	-47.8	-75.0	-72.7	-79.1	-66.6	-60.9	-32.0	-37.5	-27.3	10.2
印刷	-93.5	-94.9	-94.8	-91.5	-89.8	-96.7	-93.5	-91.9	-98.4	-90.0	-75.0	-54.9	-46.7	8.2
化学・ゴム	-63.4	-66.7	-71.4	-75.0	-57.1	-58.7	-51.7	-51.8	-51.7	-41.4	-18.5	-16.7	-13.3	3.4
窯業・土石製品	-44.4	-46.5	-44.7	-34.6	-39.0	-37.2	-39.3	-43.4	-39.8	-28.6	-27.8	-37.5	-33.6	3.9
鉄鋼・金属	-83.7	-77.5	-78.6	-71.7	-68.0	-63.8	-62.3	-52.5	-45.2	-29.8	-17.0	1.5	5.1	3.6
一般機器	-80.9	-73.5	-77.0	-72.0	-61.9	-53.2	-60.5	-53.2	-40.3	-23.7	-8.4	0.9	11.2	10.3
電気機器	-71.4	-71.4	-61.5	-53.6	-42.9	-37.0	-55.6	-55.6	-25.9	-7.4	-6.9	11.5	7.7	-3.8
輸送機器	-83.3	-81.6	-76.3	-60.5	-52.6	-58.5	-52.4	-51.1	-38.1	-31.7	-25.7	-15.9	-16.3	-0.4
その他の製造業	-84.0	-70.0	-71.4	-70.0	-58.0	-58.8	-53.0	-71.2	-66.6	-52.0	-44.0	-41.1	-29.4	11.7
非製造業	-65.1	-62.7	-60.2	-57.8	-48.6	-50.5	-52.9	-55.7	-52.5	-41.5	-34.0	-34.5	-37.1	-2.6
卸売業	-78.1	-75.4	-73.8	-71.5	-58.9	-68.1	-62.9	-68.5	-57.7	-50.0	-34.6	-32.3	-36.9	-4.6
小売業	-61.9	-62.4	-58.2	-57.9	-45.9	-46.7	-48.7	-51.1	-51.5	-38.5	-32.8	-35.3	-42.5	-7.2
商店街	-76.4	-73.3	-74.3	-73.8	-61.3	-69.8	-73.8	-78.2	-75.5	-58.5	-50.6	-55.5	-53.6	1.9
サービス業	-68.7	-63.9	-63.2	-57.4	-44.3	-45.0	-54.1	-54.1	-49.0	-38.3	-28.4	-29.5	-32.8	-3.3
建設業	-39.0	-36.2	-32.7	-31.7	-30.0	-26.6	-28.3	-30.9	-30.1	-24.5	-30.9	-29.5	-26.4	3.1
運輸業	-83.2	-81.3	-81.0	-70.5	-65.6	-69.3	-69.2	-72.1	-68.5	-53.1	-33.8	-34.8	-37.4	-2.6
その他の非製造業	-40.7	-33.3	-17.8	-30.8	-28.6	-28.5	-32.1	-44.8	-46.4	-38.0	-32.2	-18.5	-14.3	4.2

Pick up!

「その他の製造業」：全般的に厳しい状況は続いているが、前年同月比では、改善が見られたことで、景況DIは▲29.4と前月比11.7ポイント改善。

「小売業」：巣ごもり需要の恩恵が昨対比薄れたことや原材料等の値上げによる原価率上昇により、景況DIは▲42.5と前月比7.2ポイント低下。

2. 売上高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.1	▲ 12.6	1.5	上昇	↗
製造業	▲ 12.3	▲ 4.1	8.2	上昇	↗
非製造業	▲ 15.6	▲ 19.0	▲ 3.4	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	木材・木製品、紙・紙加工品、印刷、鉄鋼・金属、一般機器、その他の非製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、その他の製造業、建設業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	サービス業			
	5～10ポイント	化学・ゴム、小売業、運輸業			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業種名	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	前月比
全体	-65.7	-62.2	-59.8	-61.2	-44.4	-49.1	-51.0	-55.8	-51.4	-29.8	-13.7	-14.1	-12.6	1.5
製造業	-72.5	-68.5	-66.4	-64.8	-52.0	-54.4	-52.9	-58.4	-52.1	-29.8	-17.4	-12.3	-4.1	8.2
食料品	-70.9	-62.9	-57.9	-59.2	-46.3	-48.0	-51.8	-62.7	-59.0	-32.2	-14.0	-17.5	-21.3	-3.8
繊維工業	-83.5	-84.0	-83.0	-88.8	-75.4	-79.5	-81.4	-78.9	-78.6	-61.6	-57.7	-46.5	-39.0	7.5
木材・木製品	-73.0	-70.6	-67.3	-65.0	-47.6	-54.9	-56.0	-52.2	-40.0	-16.8	2.6	4.4	19.1	14.7
紙・紙加工品	-83.3	-68.4	-90.9	-77.3	-60.9	-70.9	-54.5	-87.5	-54.2	-43.5	-12.0	-25.0	-9.1	15.9
印刷	-93.5	-94.9	-94.9	-94.9	-91.5	-95.1	-87.1	-91.9	-90.2	-71.7	-50.0	-40.3	-19.3	21.0
化学・ゴム	-53.3	-70.4	-60.8	-64.3	-64.3	-34.5	-27.6	-27.6	-38.0	-6.9	0.0	-3.4	-10.0	-6.6
窯業・土石製品	-51.1	-52.0	-32.6	-33.8	-19.8	-32.8	-29.6	-46.4	-41.2	-12.0	-17.5	-18.7	-14.1	4.6
鉄鋼・金属	-79.2	-74.4	-74.0	-76.3	-62.6	-56.6	-53.6	-56.9	-55.4	-29.0	-9.5	4.4	16.7	12.3
一般機器	-73.1	-66.4	-75.2	-65.8	-58.4	-55.9	-55.0	-49.6	-33.0	-12.8	6.5	14.0	31.8	17.8
電気機器	-67.9	-42.8	-50.0	-46.4	-28.6	-40.8	-29.7	-11.1	-7.4	14.8	13.8	19.2	19.3	0.1
輸送機器	-57.2	-50.0	-60.5	-26.3	-7.9	-22.0	-26.2	-34.9	-31.0	-21.9	-17.9	-6.8	-2.3	4.5
その他の製造業	-86.0	-66.0	-69.4	-60.0	-54.0	-60.8	-54.9	-71.1	-56.9	-50.0	-44.0	-35.3	-25.5	9.8
非製造業	-60.4	-57.3	-54.5	-58.4	-38.4	-45.0	-49.6	-53.6	-50.9	-29.9	-10.8	-15.6	-19.0	-3.4
卸売業	-64.6	-66.7	-61.2	-69.1	-46.4	-58.6	-64.8	-63.8	-53.3	-34.6	-7.8	-14.9	-15.2	-0.3
小売業	-52.9	-48.8	-47.8	-58.5	-26.2	-38.8	-38.8	-43.1	-49.4	-20.6	-6.0	-18.6	-28.5	-9.9
商店街	-73.9	-74.6	-68.9	-74.5	-52.7	-66.1	-74.4	-79.4	-77.3	-45.7	-19.7	-38.4	-34.7	3.7
サービス業	-69.5	-64.9	-63.6	-60.8	-37.7	-40.3	-51.9	-53.1	-49.3	-24.8	0.0	1.4	-11.3	-12.7
建設業	-37.8	-34.5	-31.9	-31.3	-24.4	-22.8	-22.5	-35.8	-27.2	-22.4	-28.4	-26.2	-19.0	7.2
運輸業	-82.5	-76.4	-80.2	-75.4	-68.8	-69.3	-69.2	-66.7	-65.3	-52.3	-7.0	5.3	-2.3	-7.6
その他の非製造業	-40.8	-40.7	-25.0	-27.0	-32.2	-21.4	-39.3	-58.7	-46.5	-24.2	-17.8	-29.6	0.0	29.6

Pick up!

「印刷」：総会シーズン等の一時的な需要回復や前年の反動等により、売上高DIは▲19.3と前月比21.0ポイント改善。

「サービス業」：ホテル・旅館やイベント中止による警備業等への影響が大きく、売上高DIは▲11.3と前月比12.7ポイント低下。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 28.8	▲ 28.0	0.8	上昇	↗
製造業	▲ 27.2	▲ 22.7	4.5	上昇	↗
非製造業	▲ 29.9	▲ 31.9	▲ 2.0	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、印刷、一般機器、その他の非製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、鉄鋼・金属			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	電気機器			
	5～10ポイント	輸送機器、小売業、サービス業			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業種名	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	前月比
全体	-70.5	-64.6	-63.2	-60.5	-58.7	-48.0	-51.1	-55.2	-51.5	-38.5	-29.1	-28.8	-28.0	0.8
製造業	-73.2	-70.3	-66.8	-66.2	-63.8	-55.4	-52.9	-58.8	-52.3	-38.4	-30.8	-27.2	-22.7	4.5
食料品	-80.4	-71.3	-62.9	-58.9	-57.1	-51.6	-48.3	-59.3	-55.1	-38.5	-33.5	-33.0	-32.3	0.7
繊維工業	-90.8	-83.4	-84.1	-83.9	-81.9	-74.5	-81.4	-80.6	-77.8	-64.1	-64.4	-58.6	-53.1	5.5
木材・木製品	-72.5	-73.9	-66.7	-66.4	-61.1	-51.4	-47.4	-56.2	-42.6	-33.7	-14.2	-7.1	-2.7	4.4
紙・紙加工品	-69.6	-79.1	-78.9	-90.9	-86.4	-69.6	-54.6	-75.0	-54.2	-39.2	-32.0	-41.7	-18.2	23.5
印刷	-91.9	-88.6	-93.2	-93.1	-93.2	-88.1	-90.3	-91.9	-93.4	-73.3	-70.3	-51.6	-38.7	12.9
化学・ゴム	-64.3	-63.3	-66.7	-64.3	-71.5	-60.7	-41.4	-34.5	-34.5	-20.7	-22.2	-13.3	-13.4	-0.1
窯業・土石製品	-45.3	-38.5	-43.4	-37.2	-33.9	-32.8	-29.6	-40.5	-32.3	-21.8	-17.5	-35.2	-31.2	4.0
鉄鋼・金属	-73.2	-75.6	-73.6	-75.6	-68.0	-61.0	-52.9	-58.4	-54.0	-34.1	-26.4	-13.2	-7.9	5.3
一般機器	-70.9	-70.4	-63.7	-68.1	-69.3	-55.8	-56.9	-52.3	-47.7	-31.9	-17.6	-6.6	6.5	13.1
電気機器	-67.9	-60.8	-53.6	-57.7	-46.4	-32.1	-33.3	-37.0	-18.5	3.7	6.9	0.0	-11.5	-11.5
輸送機器	-64.3	-69.0	-65.8	-65.8	-57.9	-34.2	-47.7	-39.5	-31.0	-41.4	-20.5	-18.1	-23.2	-5.1
その他の製造業	-76.4	-80.0	-52.0	-53.0	-54.0	-50.0	-47.1	-69.3	-58.8	-48.1	-38.0	-33.4	-37.3	-3.9
非製造業	-68.6	-60.4	-60.3	-56.0	-54.8	-42.2	-49.7	-52.5	-50.9	-38.6	-27.9	-29.9	-31.9	-2.0
卸売業	-73.0	-65.0	-70.1	-65.0	-62.3	-48.3	-61.0	-60.4	-51.5	-43.3	-24.9	-28.0	-23.2	4.8
小売業	-71.0	-58.9	-59.4	-52.6	-57.3	-36.3	-43.9	-47.2	-52.1	-38.2	-32.0	-35.3	-40.9	-5.6
商店街	-83.6	-73.3	-70.7	-70.2	-69.6	-58.7	-71.9	-74.4	-74.2	-53.0	-40.2	-51.8	-50.0	1.8
サービス業	-73.1	-65.1	-63.1	-59.9	-55.1	-39.2	-51.3	-53.1	-48.2	-32.7	-18.1	-16.5	-25.3	-8.8
建設業	-42.1	-33.6	-35.9	-32.8	-29.5	-29.1	-26.3	-30.4	-30.6	-25.3	-25.1	-26.6	-25.6	1.0
運輸業	-80.5	-81.7	-77.3	-74.3	-68.8	-59.2	-62.3	-68.2	-64.6	-53.1	-31.5	-27.3	-31.3	-4.0
その他の非製造業	-46.4	-48.2	-48.1	-35.8	-30.8	-35.7	-39.3	-41.4	-35.8	-27.6	-32.1	-25.9	-10.7	15.2

Pick up!

「紙・紙加工品」：対前年同月の反動により、収益状況DIは▲18.2と前月比23.5ポイント改善。

「電気機器」：半導体の品薄感や原油高等、原材料価格の高騰等により、収益状況DIは▲11.5と前月比11.5ポイント低下。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 22.6	▲ 20.5	2.1	上昇	↗
製造業	▲ 20.1	▲ 17.0	3.1	上昇	↗
非製造業	▲ 24.4	▲ 23.1	1.3	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 1.4	▲ 0.5	0.9	上昇	↗
製造業	▲ 0.5	1.8	2.3	上昇	↗
非製造業	▲ 2.2	▲ 2.1	0.1	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 13.0	▲ 13.2	▲ 0.2	悪化	↘
製造業	▲ 10.6	▲ 9.5	1.1	上昇	↗
非製造業	▲ 14.8	▲ 15.9	▲ 1.1	悪化	↘
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 14.5	▲ 7.5	7.0	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.4	▲ 12.1	▲ 0.7	悪化	↘
製造業	▲ 11.2	▲ 10.2	1.0	上昇	↗
非製造業	▲ 11.5	▲ 13.5	▲ 2.0	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.0	▲ 11.1	▲ 0.1	悪化	↘
製造業	▲ 9.3	▲ 9.3	0.0	不変	→
非製造業	▲ 13.5	▲ 13.7	▲ 0.2	悪化	↘

Calendar 2021

～～ 国内外の主なトピックス（令和3年7月）～～

7月1日(木)	6月の日銀短観：日本銀行。大企業製造業のDIは3月比9ポイント増のプラス14に改善し、2018年12月以来の水準に高まった。改善は4期連続。
7月7日(水)	5月の景気動向指数：内閣府。景気の一致指数は2.6ポイント減の92.7と3ヶ月ぶりの下降となった。基調判断は「改善」に据え置いた。
7月8日(木)	6月の景気ウォッチャー調査：内閣府。足元の街角景気の現状判断指数は、前月比9.5ポイント上昇し47.6ポイントとなった。3ヶ月ぶりに改善した。
7月12日(月)	6月の工作機械受注額：日本機械工作工業会。2021年1～6月の速報値は前年同期比71.2%増の7,021億円で、コロナ禍前の19年1～6月を上回った。
7月19日(月)	7月の月例経済報告：内閣府。「景気持ち直しの動きが続いているものの一部で弱さが増している」と景気の総括判断を3ヶ月連続で据え置いた。
7月20日(火)	6月の消費者物価指数：総務省。生鮮食品を除く総合指数は、ガソリン等の値上げにより101.7と前年同月比0.2%上昇。指数が前年を上回るのは2ヶ月連続。